

The 50th Summer Jazz

第50回サマージャズ

1967年に目比谷野音からスタートした日本ジャズ界の源泉。

50th Anniversaryにトップ・アーティストがここに集結！



Special Guest

島津亜矢(vo)

上妻宏光(三味線) X 佐藤竹善(vo)

森口博子(mc&vo)

寺井尚子(vl)

ジャミン・ゼブ(a cappella)

ハクエイ・キム(p)

北村英治(cl)

今田勝(p)

蘭田憲一とデキシークィングス

Guest
青木研(banjo)

森寿男とブルーコーツ

開場時にサプライズ企画がありますのでお早目にご入場ください。

2018.8.25sat 文京シビックホール 大ホール

S席6,800円 A席5,800円 B席4,800円 (全席指定/税込) ※当日券500円アップ
JPMA フレンズ・クラブ プレミアム会員 (個人・法人) 10%割引 ※未就学児不可

チケット販売 JPMAフレンズ・クラブ会員 先行受付期間 5月21日(月)~ 23日(水) / 一般販売5月28日(月)

◎日本ポピュラー音楽協会 03-3585-3903 (平日10:00~18:00) <http://www.jpma-jazz.or.jp/>
◎チケットぴあ 0570-02-9999 Pコード: 116-823
◎ローソンチケット 0570-084-003 (オペレーター対応0570-000-777) Lコード: 70677
◎e+ <http://eplus.jp/> ◎CNプレイガイド 0570-08-9999

東京メトロ丸の内線・南北線「後楽園駅」直結 / 都営三田線・大江戸線「春日駅」直結
開場 14:00 開演 15:00 (終演予定 19:00)
※都合により急ぎ出演者の変更がある場合がございますのでご了承ください。
主催・問合せ JPMA 一般社団法人日本ポピュラー音楽協会
TEL 03-3585-3903 (平日10:00~18:00) FAX 03-3585-3915
〒107-0052 東京都港区赤坂1-17-910
HP <http://www.jpma-jazz.or.jp> E-MAIL info@jpma-jazz.or.jp

協賛 一般社団法人日本ビジュアル著作権協会 株式会社の上ホテル

「鳥籠の少年」レコチョクでジャンル別部門
ウィークリーランキング1位に！
みんなに愛される永遠のアイドル。



森口博子 (mc & vo)
'85年「機動戦士Zガンダム」の主題歌「水の星へ愛をこめて」でデビュー。音楽活動と並行し、バラエティ・ラジオ・CM・舞台等幅広く活躍。'91年、「ETERNAL WIND」が初のベスト10入りを果たす。同年から6年連続NHK「紅白歌合戦」に出演。昨年、劇場版「機動戦士ガンダム THE ORIGIN IV 運命の前夜」の主題歌「宇宙の彼方で」がGYAOの動画サイトで1位、ハイレゾ配信では4位にチャートイン。近年ではジャズライブにも定期的に挑戦している。「鳥籠の少年」が大ブレイク中！

上妻宏光 X 佐藤竹善

ジャンルを超えた音楽で伝統と革新を追求し、世界30カ国以上で公演を行うなど、新世代の津軽三味線奏者の第一人者！
シングライクトークキングのボーカリスト 佐藤竹善を迎えて、和洋を融合させたこのステージでしか聞けないプレミアムなコラボを！



上妻宏光 (三味線)
茨城県出身。6歳より津軽三味線を始め、幼少の頃より数々の津軽三味線大会で優勝するなど、純粋な音楽界で高い評価を得る。ジャンルを超えた国内外アーティストとのセッションは各方面から注目を集め、世界30カ国以上で公演を行う。2013年安倍内閣総理大臣主催の「TOKYO2020公式夕食会」、「第5回アフリカ開発会議公式首脳晩餐会」では日本を代表して演奏を披露。2014年津軽三味線奏者としては初めて、市川海老蔵の本公演に作曲、演奏に参加。新世代津軽三味線奏者の第一人者である。

佐藤竹善 (vo)
SING LIKE TALKINGのボーカルとして'88年にデビュー。'93年「Encounter」、'94年「Togetherness」の両アルバムはオリコン初登場1位。現在まで13枚のオリジナルアルバムを発表。総売上300万枚以上を記録している。その活動と平行して'95年に発表したカバーアルバム「CORNERSTONES」から本格的にソロ活動開始。2016年、6作目となるカバーアルバム「CRONERSTONES 6」を新日本フィルハーモニー交響楽団との共演でリリース。2015年より、2018年のSING LIKE TALKINGのデビュー30周年に向けたカウントアップ・スペシャルライブ企画がスタート。第1弾(2015)、第2弾(2016)を行い、大好評を博す。第3弾「SING LIKE TALKING Premium Live 29/30 -SING LIKE POP'n ROCK & MELLOW-」は2017年8月に東京・中野サンパザホールにて2日間に渡り開催。SING LIKE TALKINGデビュー30周年に向け、ますます精力的な活動を行っている。

世界的に活躍するジャズ・ヴァイオリンの
第一人者が奏でる官能美あふれる旋律を！



寺井尚子 (vl)
1988年、ジャズ・ヴァイオリニストとしてプロ・デビュー。独自の表情豊かな演奏スタイルでコンサートを中心に、テレビ、CMへの出演や楽曲提供など、ジャズの枠組みだけにとどまらず、幅広く音楽活動を展開し続けており、世界的アーティストとも数多く共演、好評を博している。「文化庁芸術選奨 文部科学大臣新人賞(大衆芸能部門)」(2010年)など受賞多数。2017年、アストル・ピアノ没後25年に向けて、最新作「Piazzollamor」を発表。

ソロ・ピアノで新たな魅力を開花させたその実力で
オーディエンスを魅了する。



ハクエイ・キム (p)
1975年、京都市生まれ札幌市育ち。日韓クォーター。シドニー大学音楽院卒業。2011年、ユニバーサルミュージックより「Trisonique」でメジャー・デビュー。2016年、ピアノトリオ「Trisonique/トライソニック」で米国、デトロイトインターナショナルジャズフェスティバルに出演し現地オーディエンスやメディアの絶賛を浴びる。2018年1月、約6年振りとなるソロ・ピアノアルバム「Resonance/レゾナンス」をリリース。現在、国内外を問わず精力的に活動を続けている。6/6伝承ホールにてソロツアーファイナルコンサートを開催。

祝！50回全公演出演！
モダンからフュージョンまで鍵盤を自在に操るジャズ・ピアノのレジェンド！



今田勝 (p)
明治大学卒業後、ピアノトリオを中心にスタンダード・ジャズや、フュージョン・グループ「NOWIN」でオリジナル曲の演奏活動を行う。NYにてデビット・サンボーン、スティーブ・ガット等とレコーディングした他、グローバー・ワシントンJr.、スティーブ・カーン・グループ等と制作したフュージョン・アルバムはレコードヒット賞を受賞し、その他受賞多数。日本最古のジャズフェス「サマージャズ」は第一回から全て出演。

語学万能！知性を歌に詰め込み、
ジャズをベースに様々な楽曲をスタイリッシュに歌う奇跡のハーモニー！



ジャミン・ゼブ (a cappella)
ジャズ・コーラスをベースに、あらゆるジャンルの楽曲を爽やかに歌いこなすスーパー・ヴォーカル・グループ。グループ名は、「楽しくセッションする(jamming)シマウマ(zebra)」から作った造語。シマウマには、国境や肌の色を超えて、あらゆる音楽をそれぞれが持つ特徴や楽しさをくっきりさせながら表現したいという思いが込められています。結成10周年記念yearを精力的に活躍！今最も輝く実力派男性ヴォーカル・グループとして人気を集めている。(左から) Simon | Steve | Lensei | Kojiro

ソノケンの愛称で親しまれ、日本のデキシークィング
音楽の人気を高め牽引してきた偉大なる巨人を引き継ぐ雄姿たち。



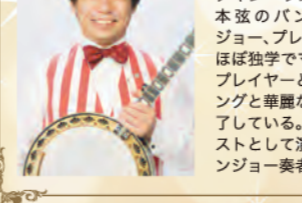
蘭田憲一とデキシークィングス
日本のデキシークィング・ジャズ界をリードしてきた蘭田憲一が1960年にデキシークィングスを結成。以来各レコード会社にて50枚吹き込み好評を博す。また、テレビ、ラジオなどの他、コンサート等におけるステージ演奏は、このグループならではの迫力ある適度なユーモアを持った演奏と歌、そして楽しいコーラスで聴く人々を魅了させる。2006年亡き後、ご子息の勉蔵氏が蘭田氏の遺志を継ぎ、リーダーとなりデキシークィング界を牽引している。

ジャズと共に生涯を生きる、
その品格と立ち振る舞いの全てがジャズ界のお手本です！



北村英治 (cl)
1929年東京都生まれ。慶応大学在学中にクラリネットを学び、1951年南部三郎クインテットでプロデビュー。1977年モンテレージャズ祭(米国)に招かれ大好評を博し、以来アメリカはもとより、ヨーロッパ、オーストラリア等の大ジャズ祭に数多く出演し、世界的ジャズクラリネット奏者として活躍している。2014年4月英国のジャズジャーナル誌の表紙を飾る。2007年4月旭日小綬章受章。2016年4月米寿記念コンサートをサントリーホールで開催。

青木研 (banjo)
13歳で初めてバンジョーに触れ、デキシークィングジャズで使われる4本弦のバンジョー(テナーバンジョー、プレクトラムバンジョー)をほぼ独学でマスターする。若手No.1プレイヤーとして楽しげなステージングと華麗なテクニックで観客を魅了している。日本では数少ない、ソリストとして演奏することのできるバンジョー奏者。



森寿男とブルーコーツ
長い歴史と伝統を誇り、和製グレン・ミラー楽団の異名をとるビッグバンド界の至宝！



1946年に発足し、黛敏郎、秋吉敏子等、数多くの有名な音楽家を輩出。1970年、芸大出身の森寿男が三代目リーダーを引き継ぎ、和製グレン・ミラー楽団との誉れも高く、カウント・ベイシー、デューク・エリントンなどの精神とフィーリングも追求し、ビッグバンドの王道を往々に語りかける暖かいサウンド創りを目標に演奏活動を続けている。今年結成70周年を迎える日本を代表する最古の名門ビッグバンドである。
森寿男 (leader & cond) 羽毛田耕士 / 上石 統 / 篠原国利 / 佐瀬 悠樹 (tp)
岩崎敏信 / 内田日富 / 小林 敦 / 渡辺 亮 (tb) 今野菊治 / 菊地 武 (as)
田辺信男 / 内山正博 (ts) 五十井橋 隆 (bs) 池野美音 (p) 小島正志 (b) 阿野次男 (ds)